

# Hour of Code イベント開催ガイド

コンピュータサイエンスエデュケーションウィーク(2015年12月7日-13日)に、  
日本中の子どもたちにプログラミングを体験する機会を!



## 1 どのチュートリアルをやるのか、 決めましょう

様々な種類の、1時間で完結するチュートリアルを準備しています。実際に使用するチュートリアルは、一度ご自身でもやってみることをおすすめします。アナと雪の女王が人気ですが、最初はアングリーバードがおすすめです。その他のチュートリアルは[code.org/learn](http://code.org/learn)でご確認いただけます。

全てのHour of Codeチュートリアルは:

- 先生の準備が最小限で済むように作られています。
- また、自分でステップを進めていく方式なので、個人のスキルにあわせたスピードで進められます。



操作は、マウスだけで可能です。また、教材使用料や、個人情報登録は不要です。2015年向けの新しいチュートリアルも順次公開されます。

## 2 自分のイベントを登録して、 他の人を巻き込む

**先生ですか?** Hour of Codeのワークショップを、ご自身のクラスでやってみましょう。他のクラスの先生を誘うことも忘れずに。

**校長先生ですか?** Hour of Codeのワークショップを、学校全体でやることをご検討ください。一人一台のコンピュータは必要ありません。

**教育委員会の方ですか?** 地域の全ての学校に、Hour of Codeのワークショップを開くことを勧めましょう。

**保護者の方ですか?** このガイドを、学校の先生に渡しましょう。ボランティアとして助けることも忘れずに。

どうやって学校中に広めれば良い?

- このガイドを、校長先生や周りの先生に配りましょう。
- あなたが開催するHour of Codeを、[hourofcode.com](http://hourofcode.com)に登録しましょう。

## 3 必要な機材を揃えましょう — コンピュータは必ずしも

必要ではありません

Hour of Codeのチュートリアルは、インターネットに接続されたコンピュータで動くように作られています。登録はサインインは必要ありません。

さらに、一人一台のコンピュータは必要ではありません。

**コンピュータ教室で:** 学校のコンピュータ教室は、最も最適なオプションです。

**あなたの教室で:** もしあなたの教室のコンピュータが既にインターネットに接続されているのであれば、交代交代でもHour of Codeをやってみるのはいかがでしょうか。

**ペアでやってみる:** もし一人一台コンピュータがないのであれば、2人もしくは3人でペアになって一台のコンピュータを使う“ペア・プログラミング”をやってみてはいかがでしょうか?

**プロジェクタ、もしくは電子黒板で:** もしあなたの教室がプロジェクタや電子黒板を備えている場合、これらの機材をつかってみるのはいかがでしょうか。

**保護者の方を巻き込む:** もし学校に無線インターネットがあるのであれば、保護者の方にコンピュータやタブレットを持ってきてもらえないかお願いするのはいかがですか?

**モバイルデバイスを利用する:** もし十分な数のコンピュータがないのであれば、スマートフォンやタブレットを利用することも検討しましょう。ほとんどのチュートリアルは、これらのデバイスでも問題なく動作します。

**アンプラグド (コンピュータを使わない):** 全く電子機器を利用しない、“アンプラグド”なチュートリアルも準備しています。

教育関係者向けの資料は、以下でご覧になれます。  
[hourofcode.com/resources](http://hourofcode.com/resources)

## 全てのイベント主催者に粗品を進呈

- 全ての主催者に、“Thank you”ギフトが贈られます。
- 2015年向けの詳細も、順次発表される予定です。

## 4 Hour of Codeを広めよう

**宣伝用のビデオやポスターを広めよう。**以下のアドレスで、ビデオやポスター、ステッカーにアクセスできます。  
[hourofcode.com/resources](http://hourofcode.com/resources)

**保護者の方に伝えよう。**保護者の方々に、Hour of Codeのことを伝えましょう。そして、参加することをお願いしてみましょう。保護者の方のサポートは、日本中の学校でコンピュータサイエンス教育を充実させるために欠かせません。以下のページには、保護者の方向けのメールのテンプレートもあります。  
[hourofcode.com/resources](http://hourofcode.com/resources)

**参加者に感謝しましょう。**イベントに参加してくれた生徒、先生そして保護者の方に感謝しましょう。

## 5 Hour of Codeを開催しよう

Hour of Codeを開催する方法は一つではありません。是非、12月7日-13日の間に、Hour of Codeのワークショップを開催して、あなたの周りの子ども達にプログラミングを体験する機会を作りましょう。

**学校全体でやってみる。**Code.orgで紹介されているビデオを見たり、ゲストスピーカーを呼んだりして、学校の全ての生徒がコンピュータサイエンスに触れる機会を作りましょう。

**メディアや議員に連絡をしてみる。**あなたの学校がHour of Codeに参加してみることを、より多くの人に知ってもらいましょう。

**あなたの周りの人を、巻き込む。**保護者やそのご両親、ボランティアの方にも積極的にHour of Codeの話をしてみましょう。

**シェアする!**あなたの経験を、写真とともにSNSで発信しましょう。 #HourOfCode.

## 6 Hour of Codeが終わったら何をすれば良い?

Hour of Codeを体験したら、以下のことをやってみることをおすすめします:

**授業で、もしくはオンラインで継続的に学ぶ。**Code.orgのCode Studioというオンライン学習プラットフォームで、継続的に学習できます。生徒の進捗を管理したり、その他のリソースを検索することもできますよ。  
[code.org/educate](http://code.org/educate)

**コンピュータサイエンスを、あなたの学校のカリキュラムに組み込む。**  
[code.org/educate](http://code.org/educate)を訪れて、どうやってコンピュータサイエンスをあなたの学校のカリキュラムに組み込めるか学びましょう。日本でも、小学校の先生向けに無料のワークショップを継続的に行う予定です。

**コンピュータサイエンス教育を取り巻く制度を変えることを支援してください。**Code.orgとそのパートナーは、日本でも国や地方自治体と継続的にコンピュータサイエンス教育を公教育において行っていく方法を議論しています。この動きを支援するには、以下のURLをご覧ください。  
[code.org/promote](http://code.org/promote)

さあ、今すぐ2015年12月7日から13日の日程をメモしましょう。  
[hourofcode.com](http://hourofcode.com)で、より詳細な情報を入手できます。



“世界中全ての女の子に、Hour of Codeに参加して欲しいです。”

— マララ・ユセフザイ  
ノーベル賞受賞者

The Hour of Code is organized by Code.org, a public non-profit dedicated to expanding access to computer science and increasing participation by women and underrepresented students of color. The Hour of Code is celebrated during the annual Computer Science Education Week in December.

Code.org®, the CODE logo and Hour of Code™ are trademarks of Code.org.

HOURL  
OF  
CODE